

1. 事業説明シート（1）

（区分）**国補**・**県単**

事業名	広域営農団地農道整備事業（国補・県単）		事業箇所	北杜市須玉町、他4町		地区名	ハケ岳		事業主体	山 梨 県	
(1)事業着手年度	S60年度	(2)事業期間	S60年度～H20年度	(3)完了後経過年数	5年	(4)総事業費	13,961百万円				
(5)事業着手時点の課題・背景						(8)事業位置図等					
<p>本地区は、ハケ岳山麓の南側に位置し、高冷地という気象的制約により異常低温等の影響を受け、しばしば水稲冷害が発生している。このことから、農業経営意欲の減退がみられていたが、区画整理等の基盤整備により冷涼の気候を活かした畑作目への転換が進みつつある。</p> <p>しかしながら、生産作物の流通の合理化を図るため、集出荷施設と中央自動車道等の幹線道路を結ぶ主要な流通体系の整備が急務であった。</p> <p>このため、隣接する茅ヶ岳地域の基幹農道と接続し、中央自動車道小淵沢、長坂インター等に直結するとともに、国道141号、20号と結ぶことにより、地形的に分断されたハケ岳地帯と茅ヶ岳地帯を結び輸送の合理化や沿線農地の利便性の向上、集落間のアクセス向上など、地域農業の持続的な発展を図るものである。</p>						(省略)					
(6)事業着手時点で想定した整備目標・効果											
（事前評価未実施）											
<input type="checkbox"/> 主要目標 <ul style="list-style-type: none"> ・集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 <input type="checkbox"/> 副次目標 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者等の安全性確保 <input type="checkbox"/> 副次効果 <ul style="list-style-type: none"> ・農林産物の販売促進 ・他事業との一体施工 											
(7)整備内容（目標達成の方法）											
農道工 延長L=21,108m、幅員W=7.0m（車道幅員5.5m） 道路区分 3種4級、設計速度 40km/h											

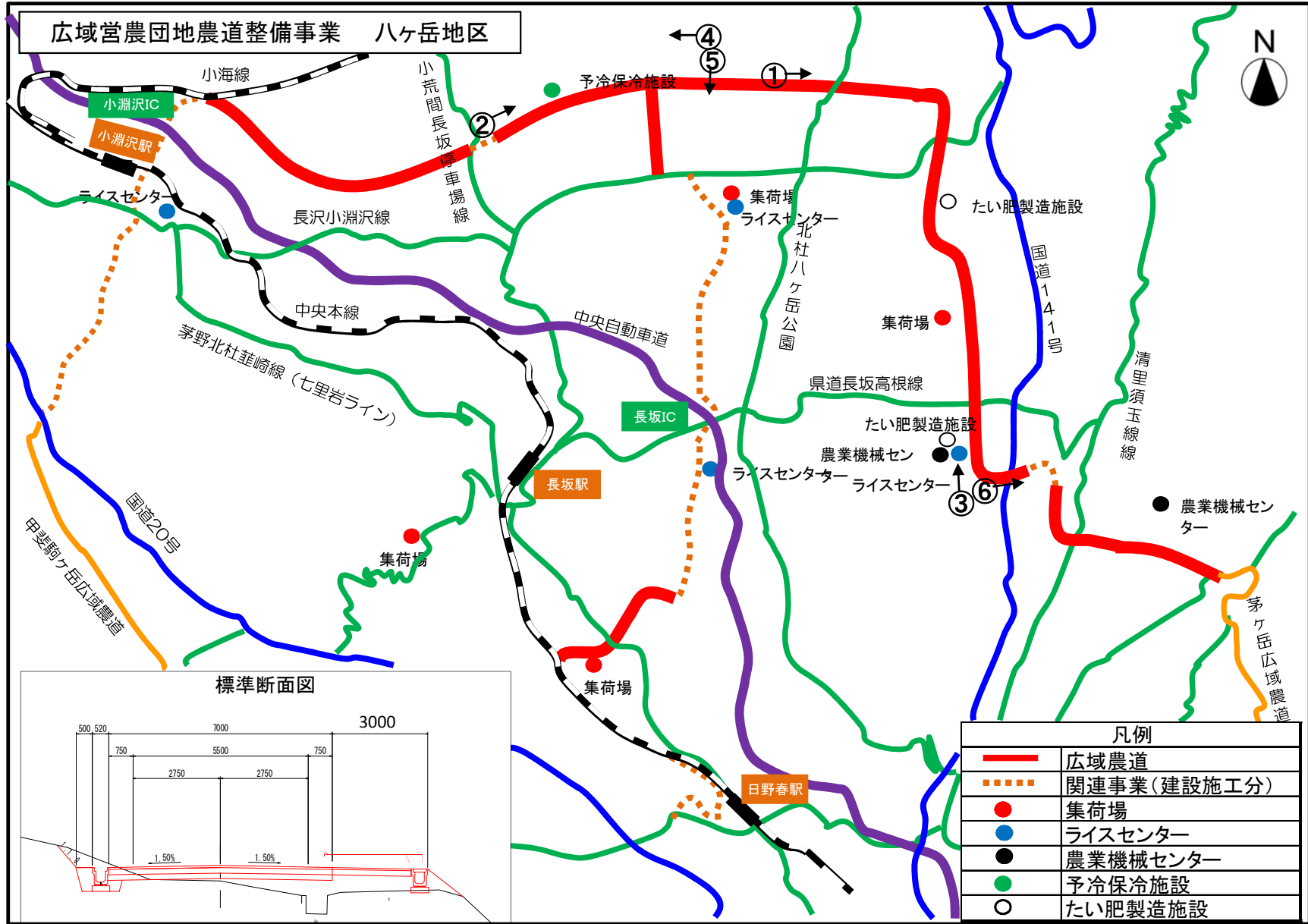
2. 評価シート（1）

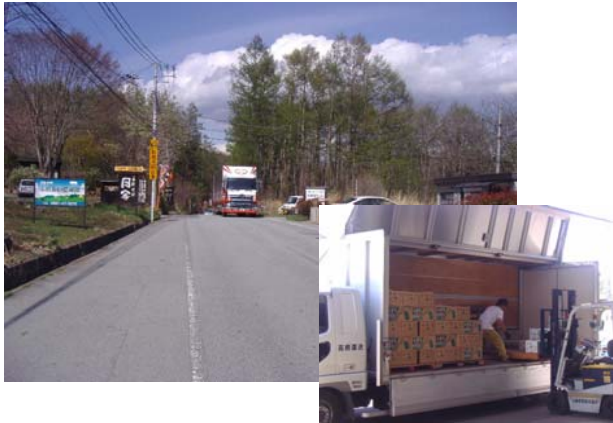
<p>(1)事業貢献度 〈 <input checked="" type="radio"/> 良 ・ 不良 〉</p> <p>(理由)</p> <p>基幹農道が整備されたことにより、農産物輸送や農地への往来が効率的になり、農産物の販売促進に繋がるなど地域農業の振興が図られるとともに、生活道路として利便性の向上に大きく貢献している。</p> <p>① 主要目標 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:33%;">指標</th> <th style="width:33%;">着手時点数値等</th> <th style="width:33%;">評価時点数値</th> </tr> <tr> <td>4m以上の道路延長</td> <td>79.5%以上→設定せず</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価 当該ルートにおいて、全幅員4.0m以上の延長率16%（3,430m/21,108m）「基準値79.5%以上」であったが、現時点では事業の完成により4m未満の区間は全て7mに改良された。</p> <p>② 副次目標 歩行者等の安全性確保</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:33%;">指 標</th> <th style="width:33%;">着手時点数値等</th> <th style="width:33%;">評価時点数値</th> </tr> <tr> <td>通学路の指定</td> <td>通学路なし</td> <td>通学路指定あり</td> </tr> <tr> <td>現況の歩道幅員</td> <td>0m</td> <td>3m</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価 地域や教育委員会と協議し、歩道を設置した。現在、小学校の通学路に指定され、歩行者の安全性確保に効果を発揮している。</p> <p>③ 副次効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:33%;">項 目</th> <th style="width:66%;">内 容</th> </tr> <tr> <td>農林産物の販売促進</td> <td>観光客の流入の増加とともに沿線には農産物直売所が開設され、農産物の販売が促進されている。</td> </tr> <tr> <td>他事業との一体施工</td> <td>県、市が協議調整の上、広域農道、市町村道を一体的に整備したため、効率的な事業実施が図られた。</td> </tr> </table>	指標	着手時点数値等	評価時点数値	4m以上の道路延長	79.5%以上→設定せず	100%	指 標	着手時点数値等	評価時点数値	通学路の指定	通学路なし	通学路指定あり	現況の歩道幅員	0m	3m	項 目	内 容	農林産物の販売促進	観光客の流入の増加とともに沿線には農産物直売所が開設され、農産物の販売が促進されている。	他事業との一体施工	県、市が協議調整の上、広域農道、市町村道を一体的に整備したため、効率的な事業実施が図られた。	<p>(2)費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 〈 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 〉</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:20%;">項 目</th> <th style="width:30%;">着手時点の計画</th> <th style="width:50%;">事後評価時点の実績</th> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>10,416百万円</td> <td>13,961百万円</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td>S60~H14</td> <td>S60~H20</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>14,101百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>17,421百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.24</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>20,046百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>21,312百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.06</td> </tr> </table> <p>※ 平成11年度再評価地区 総事業費 14,300百万円、工期 S60~H17に見直し</p> <p>(要因変化の分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総事業費、費用 一部ルートの変更による橋梁の追加と、JRとの協議の結果、平面交差から立体交差に工法変更したことにより事業費が増額となった。 ・ 工 期： 橋梁の追加や工法変更に係る関係機関との調整や用地取得の遅延及び文化財発掘調査などによる工期の延長 ・ 便 益： 走行経費節減効果による便益額増 ・ B / C： 費用の増額に伴う低減 <p>(3)事業実施による環境の変化 〈 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 〉</p> <p>① 自然環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 傾斜地など生産条件が悪い田畑は耕作放棄地が見受けられたていたが、農道ができたことにより条件が改善され、耕作放棄地の増加の抑制になっている。 <p>② 生活・居住環境等への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハヶ岳南麓の観光地へのアクセス道路として、高速道路や県道からの観光客流入に伴い、広域農道沿いには農産物直売所が設置され、訪れる都市住民との交流が図られている。 ・ 北杜市の須玉町他4町を結ぶルートとして利便性が高い。 <p>③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	10,416百万円	13,961百万円	工 期	S60~H14	S60~H20	経済効率性	費用	14,101百万円	便益	17,421百万円	B/C	1.24			20,046百万円			21,312百万円			1.06
指標	着手時点数値等	評価時点数値																																													
4m以上の道路延長	79.5%以上→設定せず	100%																																													
指 標	着手時点数値等	評価時点数値																																													
通学路の指定	通学路なし	通学路指定あり																																													
現況の歩道幅員	0m	3m																																													
項 目	内 容																																														
農林産物の販売促進	観光客の流入の増加とともに沿線には農産物直売所が開設され、農産物の販売が促進されている。																																														
他事業との一体施工	県、市が協議調整の上、広域農道、市町村道を一体的に整備したため、効率的な事業実施が図られた。																																														
項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																																													
総事業費	10,416百万円	13,961百万円																																													
工 期	S60~H14	S60~H20																																													
経済効率性	費用	14,101百万円																																													
	便益	17,421百万円																																													
	B/C	1.24																																													
		20,046百万円																																													
		21,312百万円																																													
		1.06																																													

評価シート（2）

<p>(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 〉</p>
<p>① 社会経済状況の変化 ・なし</p> <p>② 関連計画・関連事業の状況の変化 ・なし</p> <p>③ 事業環境等の変化 ・なし</p>	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部ルートの変更や関係機関との協議により、橋梁やトンネルの追加により事業費が大幅に増額となった。 <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画時において、事前調査等をより一層入念に行い、適切な事業費を算定するとともに、想定される関係機関との協議を綿密に行うよう努める。
<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 拠点施設間のアクセス向上により農産物の輸送が合理化されているとともに、一般交通の流入も増加するなど十分な効果が発現されているため、今後の事後評価は必要ないと思われる。 <p>□「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期： 年度 ・方法： 	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(9) その他特筆すべき事項 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>(具体的改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>(既に実施した改善策の内容と効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし

3.添付資料シート(1)





① 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上
広域農道を利用した農産物の出荷
(集出荷施設から中央道ICへ)



② 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上
広域農道を利用した集落間の往来



③ 農産物の生産性向上
広域農道が整備により、野菜のビニール
ハウス栽培等が盛んになっている。



④ 農産物の販売促進
農産物の直売所が賑わいを見せる。



⑤ 良好な景観の創出
北杜市のすばらしい景観「北杜24景」に選定され
HPに公開されるなど、観光資源として位置づけ
られている。



⑥ 歩行者の安全確保
歩道が整備され通学の安全が確保された。